

工賃向上計画（令和6年度以降）

【はじめにご確認ください】

・工賃向上計画の作成に当たり、シート名「概要」、「分析」、「目標」の3つのシートの作成・提出は必須となります。
・シート名「R6作業別」、「R7作業別」、「R8作業別」の作成・提出は任意ですが、当該シートを作成することにより、工賃向上計画がより具体的にになるとともに、職員間での共有に活用できるため、可能な限り作成を検討してください。

提出日	担当者名	担当者連絡先(電話番号)
令和6年7月25日	浅田 倫宏	0942-23-8885

1 事業所概要

法人名	社会福祉法人ラポール			法人代表者名	理事長 柊 雅博
事業所名	就労継続支援事業(B型)風の丘			管理者名	池田 岳明
事業所住所	住所	〒 838-0136	市町村名	小郡市	
	福岡県小郡市上西鯨坂37番地1				
	電話番号	0942 - 23 - 8885		FAX番号	0942 - 73 - 3156
	e-mail	kazenooka@comet.ocn.ne.jp			
事業種別	就労継続支援B型事業所			定員数	40人
指定年月日	H19.5.1			事業所番号	4012600070
利用契約者数(令和6年4月1日現在)					38人
福祉活動における指導職員数					9人
事業会計に人件費を計上している職員数(サービス管理責任者、職業指導員、生活支援員等)					14人
令和6年度の報酬算定区分(指定権者への届け出内容)			就労継続支援B型サービス費(Ⅰ)		
平均工賃の推移					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
工賃支払総額(円)	3,271,890	6,835,290	8,108,065		
開所日1日当たりの平均利用者数	33.6	31.6	33.2		
年間延べ利用者数(人)	9,030	8,497	8,776		
年間開所日数(日)	269	269	265		
年間開所月数(月)	12	12	12		
平均工賃月額	8,115	18,026	20,352		
事業所の特徴					
開設の経緯(動機、きっかけ等)	小郡市南部地域に障害者の受け皿となる施設が全く無く、近隣の障害者の方々や特別支援学校教職員・保護者の皆様の強い要望により発足。				
事業所の運営方針(具体的な方針や考え方)	住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、それぞれのニーズに沿った支援を行います。自立した生活を送る為には、工賃の向上は必須であり、希望に沿った工賃が支給できるよう作業内容の見直し、交渉を行う。				
利用者の状況(障がい種別、程度、年代)	利用者38人のうち、精神1名、知的37名、19～61歳(平均35歳)				
基本的な就労頻度	清掃部門は週6日×2時間、種芋・球根部門は週5日×4時間(9月、12月～3月)、配列・工芸品部門は週5×4時間、自主製品部門は週5日×4時間、リサイクルは 月1日 1時間				

※年間開所月数(例): 令和5年10月に新規開設の場合、令和5年度は6カ月(10月～3月)となる。

2 令和5年度の分析

事業者名

就労継続支援事業(B型)風の丘

事業所番号

401260070

作業部門	清掃業	自主生産	ツルク	マセック	スポット作業	リサイクル
作業形態(ドロップダウン)	施設外就労	自主事業	請負・受託等	請負・受託等	請負・受託等	請負・受託等
商品・サービス名	高齢者施設による清掃活動	・機織りで作った生地を使用した製品販売、イラストを使用したボールペン販売、レジン製品	季節ごとに、球根の仕分け、種芋の袋詰め	自動車部品の配列・色付け、差し込み作業	工芸品・タオル箱折り・味噌販売	アルミ缶、古紙の回収、納品
商品・サービスの特徴	・高齢者施設1カ所、で清掃作業を行う。	・はた織り機を使用して生地を作り、製品化を行う。主に小物雑貨、ポーチ袋及びバッグを販売している。 ・イラスト部門では、主に、ポストカード、ボールペンなどを作成。 ・レジン製品には、機織りの余った糸を再利用し、小物やアクセサリーを制作。	・球根は9月より1か月程度、種芋は7月～8月、12月～3月。 ・野菜ポット差し作業。 ・玉葱苗選別、梱包。 ・期間限定の作業であるが作業単価、生産量ともに見込める。 ・比較的簡単な作業で幅広く参加出来る。	・配列作業は、自動車部品のプレートに配列、色付け作業。 ・差し込み作業はブッシュ玉を棒に差し込む。 配列作業も差し込み作業も作業量が見込める。	・工芸品は、わらの検品や、発砲スチロールの加工など行う。他作業の切れ間等に行っている。 ・タオル折り、箱折り作業は年1回程度で受注。 ・味噌販売は定期的な発注により販売。本年度にて終了。	・地域の方より、古紙、アルミ缶を持って来ていただき、納品を行う。 ・他作業の空いた時間に回収、納品などを行う。

(1) 収益性

	収入比	収入比	収入比	収入比	収入比	収入比
年間生産活動収入(A)	13,407,056	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
年間生産活動支出(工賃除く)(B)	2,874,784	21.4%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
①原材料費	659,977	4.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
②その他経費	2,214,807	16.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
工賃支払前収支(A)-(B)	10,532,272	78.6%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
年間工賃総額(C)	8,108,065	60.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
開所日1日当たりの平均利用者数(D)	33.2					
①年間延べ利用者数	8,775人					
②年間開所日数	265日					
年間開所月数(E)	12月					
月額平均工賃(C)/(D)/(E)	20,352					
担当する職員数	2人	2人	4人	4人	4人	1人
商品・サービスの課題	・高齢者の施設での清掃においては、サービス向上のために新しい掃除機を導入し今までの同じ作業時間で作業範囲を広げ効率化を図る。	・バック・ポーチ袋等やボールペンなどは主に個人客が中心であり、受注は限定的であるが、以前のコロナウイルスによる影響も今は軽減してきているために、フェスタ及びマルシェなどの場に少しずつ参加し、販売する。	・職員が行う作業量が多く、負担を減らすための設備投資が必要。新たな作業スペースの確保が必要。 ・状況によっては出荷先の現場にスタッフとゲストが訪問して作業を行う。	・配列・差し込み作業は、納品の頻度が高く、職員の作業量が増加する為、新たな人員、設備が必要。	・工芸品は、請負作業単価が低く、単価の引き上げは見込めない為にわらや発泡塗りの作業を交渉し頂く。	・人員をさくことは出来ず、空いた時間のみに行う。職員負担もあり、回収業務は、身近な所のみを対象とする。

(2) 将来性(4段階評価)

販路拡大が見込まれる。	○	○	○	○	○	×
生産量を増加できる。	○	○	○	○	○	×
商品力を向上できる。	◎	◎	○	○	○	△
原材料費等の経費を削減できる。	△	△	△	△	△	×

(3) 事業の意義(4段階評価)

利用者の特性に合う。	◎	◎	◎	◎	○	△
職業能力を向上できる。	◎	◎	○	◎	○	△
地域に貢献できる。	◎	○	○	○	○	○

(4) 今後の方向性

拡大、維持、縮小、廃止から選択	現状維持	拡大	現状維持	現状維持	現状維持	縮小
-----------------	------	----	------	------	------	----

(留意事項)

- 作業部門ごとに収入・支出を計上していない場合は、まとめて計上しても可。
- 年間開所月数(例): 令和5年10月に新規開設の場合、令和5年度は6カ月(10月～3月)となる。

3 目標（令和6～8年度）

事業所名	就労継続支援事業(B型)風の丘	事業所番号	4012600070
------	-----------------	-------	------------

	作業部門	令和6年度(目標)		令和7年度(目標)		令和8年度(目標)				
具体的 方策	施設外就労部門(清掃)	<ul style="list-style-type: none"> 施設外就労の受け入れ態勢の確保 感染症予防の徹底 清掃範囲、時間の見直しに伴い、作業単価の交渉を行う 		<ul style="list-style-type: none"> 清掃においては、単価の向上が見込めない場合は、新規受け入れ先を開拓する。 		<ul style="list-style-type: none"> 就労状況の見直し、作業効率等を検討し、継続をするか検討を行う 				
	自主生産部門(機織り・イラスト・バッグ・珈琲焙煎)	<ul style="list-style-type: none"> 新規顧客の獲得を目指し、販売会など積極的な参加を行う ホームページ及びInstagramの活用により、情報発信を行うことで普及を狙う イラストを使用した、新たな製品開発を行う 珈琲焙煎した豆を施設内の販売だけではなく地域行事やマルシェ等の販売会に参加し周知拡大を目指す 		<ul style="list-style-type: none"> 生産力を向上するため、設備、人員の見直しを行う ネット販売の開始 販売ルートの確保(店頭販売等) 機織り製品、イラストをコラボした商品開発を行う 珈琲焙煎豆の販売ルートの見直しを行い売上拡大を目指す 		<ul style="list-style-type: none"> 販売ルートの拡充 取り込んだ顧客の継続的な確保のため、商品の向上、新規開発を行う。 				
	種芋・球根部門	<ul style="list-style-type: none"> 人員配置等の見直し、作業量を安定させる 設備投資を行い、作業の受け入れ態勢を確保 経費の負担の軽減(1日2、3回の納品)を図る為、リフトの購入、リースをして資材の搬送をお願いする 		<ul style="list-style-type: none"> 他作業との作業スペースを確保する為、新規作業場所の確保、設備を更新する 生産力の向上による作業量の見直しを行う 		<ul style="list-style-type: none"> 新規作業の確保に向け交渉 継続して仕事を確保するため、企業の下請けとなるべく、必要な設備を整備 				
	・配列部門	<ul style="list-style-type: none"> 配列部門の作業量増加に伴い、製袋部門より人員配置の変更 作業量確保する為、設備投資を行う 		<ul style="list-style-type: none"> 配列部門の比重を大きくし、作業場等の入れ替えを行う 配列部門の作業量の見直し、それに応じて単価の交渉を行う 		<ul style="list-style-type: none"> 配列部門において、配列以外の作業の交渉、それに伴い、設備、人員の更新 				
	・スポット作業部門	<ul style="list-style-type: none"> 工芸品による、わらの検品や、発砲スチロールの加工など行う人員配置の確保。 タオル折り、箱折り作業は年1回程度で受注。 		<ul style="list-style-type: none"> わら検品や発砲スチロールの加工以外の追加作業の交渉。それに応じて単価交渉を行う。また、4月から6月の売り上げ減少の期間を他のスポット作業を増やす為に営業活動を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 作業量増加に伴い人員配置の見直しと新規作業作業場所の確保 				
	リサイクル部門(古紙・アルミ缶)	<ul style="list-style-type: none"> 施設外就労の再開に伴い廃止、縮小 		<ul style="list-style-type: none"> アルミ缶については廃止 古紙は出来る範囲で行う 		<ul style="list-style-type: none"> 周辺の情報を取り入れ、回収業者の見直し 				
年間生産活動収入(A)		12,000,000	円	100.0%	12,500,000	円	100.0%	13,000,000	円	100.0%
年間生産活動支出(工賃除く)(B)		2,500,000	円	20.8%	2,500,000	円	20.0%	2,500,000	円	19.2%
材料費		1,000,000	円	8.3%	1,000,000	円	8.0%	1,000,000	円	7.7%
その他の経費		1,500,000	円	12.5%	1,500,000	円	12.0%	1,500,000	円	11.5%
工賃支払前収支(A)-(B)		9,500,000	円	79.2%	10,000,000	円	80.0%	10,500,000	円	80.8%
年間工賃総額(C)		8,960,000	円	74.7%	9,300,000	円	74.4%	9,650,000	円	74.2%
開所日1日当たりの平均利用者数(D)		35 人		35 人		35 人				
(1)年間延べ利用者数		8786 人		8786 人		8786 人				
(2)年間開所日数		269 日		269 日		269 日				
年間開所月数(E)		12 月		12 月		12 月				
月額平均工賃(C)/(D)/(E)		21,333 円/月		22,143 円/月		22,976 円/月				

(参考)

工賃変動積立金	450,000	円	450,000	円	450,000	円
設備整備等積立金		円		円		円